

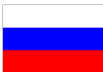
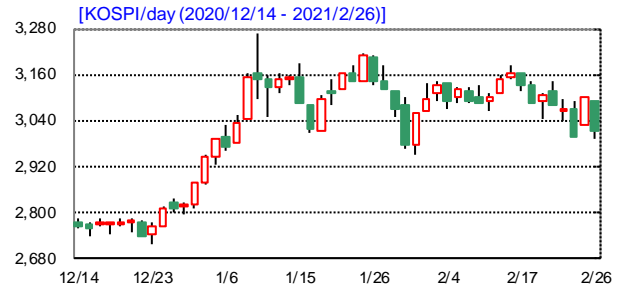


## 【韓国】 総合指数は週間で 3.0%安と反落、今週は神経質な展開か

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 3.0%安と反落。総じて売り優勢の展開となった。週明け 22 日からさえない値動きで、24 日まで 63 日続落。米長期金利の上昇を背景に米市場で割高感が意識されやすいハイテク株が売られ、韓国市場にも波及した。24 日終値は節目の 3000 ポイントを割り込み、1 月 29 日以来、約 3 週間ぶり安値を付けた。25 日は前日の米株高に加え、韓国銀行（中央銀行）総裁が金融緩和の継続方針を示したことで急反発し、3000 ポイントを回復。ただ、26 日は再び米長期金利の上昇を警戒してリスク回避の動きが広がった。前日比 3.0%の大幅安となったが、終値で 3000 ポイントを守っている。今週は米長期金利やハイテク株の動きをにらみ神経質な展開か。経済指標では国内の貿易統計、製造業 PMI、CPI などが発表される。

▼指数チャート

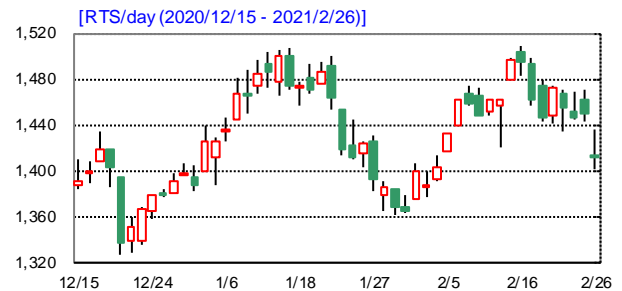


## 【ロシア】 RTS 指数は週間で 4.1%安と 4 週ぶり反落、今週は原油相場が焦点か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 4.1%安と大幅に 4 週ぶりに反落。海外株安や対ロシア経済制裁懸念に加え、ノリリスク・ニッケルの大幅安、週後半の原油安が重しとなった。週明け 22 日は原油高を好感しエネルギー株が上昇したものの、海外株安や対ロ経済制裁懸念、設備崩落事故を受けたノリリスク・ニッケルの大幅安などで指数は前営業日比 1.2%安。24-25 日は上下にもみ合ったが、26 日に 2.7%安と再び大きく下落。海外株安や原油相場の続落が嫌気された。指数は 1411.93 ドルと 2 月 4 日以来の安値で週の取引を終え、月間上昇率は 3.2%に縮小した。個別では資源のノリリスク・ニッケルが 16.5%安と急落し、エネルギーのノバテックが 6.4%、ガスパロム 3.7%下落し、指数を押し下げた。今週は原油相場の動きが焦点か。

▼指数チャート



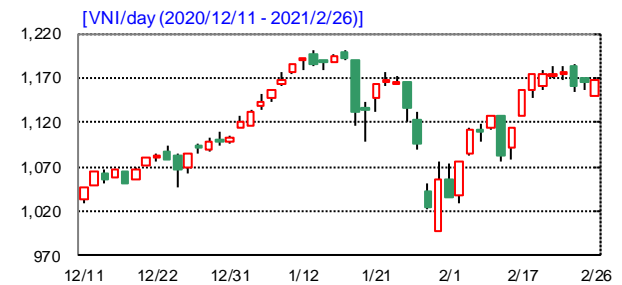
## 【ベトナム】 ベトナム指数は 0.4%安と反落、今週も海外投資家の売りが上値圧迫

か

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 0.4%安と反落。海外投資家の売りが続いたことで金融株や不動産株が下落し、指数を押し下げた。旧正月明けの前週に 5.3%高となった VN 指数は 22-23 日も小幅に続伸したが、24 日に 1.3%安と反落。海外投資家の売りを背景に金融株や不動産株が軟調に推移した。週後半は小幅に続伸したものの、週間ではマイナス圏で終了し、月間では 10.6%高と上昇率が縮んだ。個別では、空運のベトナム航空が 11.3%高と急伸し、鉄鋼のホア・ファット・グループが 4.9%高、ゴム製品のベトナム・ラバーが 2.7%高となった一方、不動産のキンバック・シティ・デベロップメントが 6.3%、食品加工のマサン・グループが 4.8%、金融のパオバト・ホールディングスが 3.9%下落した。今週も海外投資家の売りが上値を圧迫か。

▼指数チャート

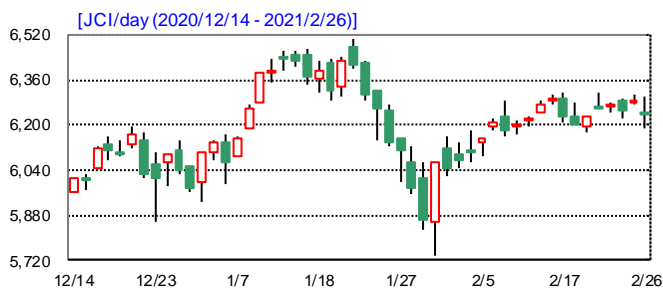


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.2% 高、米国債の利回り上昇が足かせ**

ジャカルタ総合指数は週間で 0.2% 高と 4 週続伸。2 月月間では 6.5% 高。先週は国内の重要イベントが少なく、外部要因が指数を左右した。週初の 22 日は寒波で生産が停止していた米テキサス州の石油施設の稼働再開が遅れるとの見通しを受けて原油が値上がりし、エネルギー株が指数上昇をけん引。23 日は商品価格の上昇を背景に世界経済の回復期待が高まり、買い優勢の展開が続いた。一方、24 日は米国債の利回り上昇が株安を誘い、指数は 4 営業日ぶりに反落。週後半は一進一退の値動きとなった。今週は 1 日発表の 2 月の CPI に対する市場の反応のほか、中国の 2 月の製造業 PMI も意識されそうだ。

### ▼指数チャート

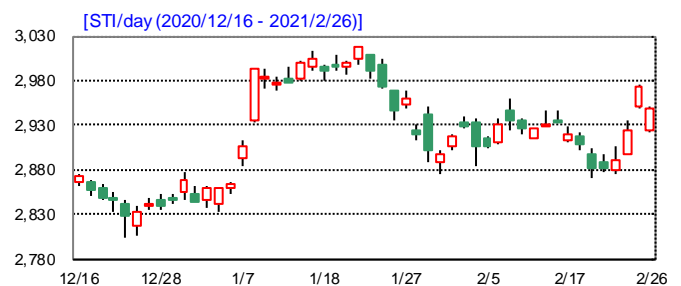


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 2.4% 高、今週は 2 日に 2 月の製造業 PMI 発表**

ストレーツタイムズ指数は週間で 2.4% 高と反発。2 月月間では 1.6% 高。先週はおおむね堅調な値動きだった。週初の 22 日は 4 営業日ぶりに小幅反発。24 日はオーバーシー・チェーンズ銀行の 20 年 10-12 月期の減益幅が市場予想より小さかったことで金融株が買われ、指数は前日比 1.2% 上昇した。25 日は前日の NY ダウが過去最高値を更新した流れを引き継ぎ、さらに 1.7% 高と 4 日続伸したが、26 日は 1 月の鉱工業生産が市場予想から上振れしたものの、米国債利回りの急上昇と NY ダウの大幅下落が嫌気されて反落している。今週は 2 日に 2 月の製造業 PMI、5 日に 1 月の小売売上高が発表される予定。

### ▼指数チャート

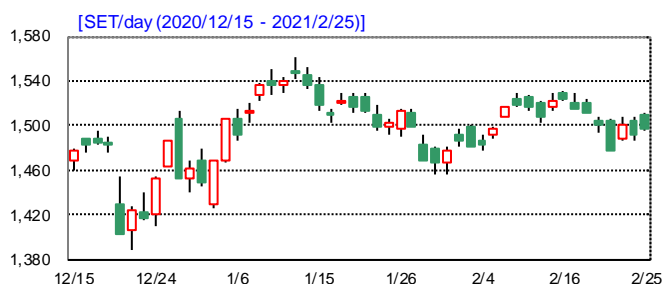


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.2% 安、今週は終値で 1500 ポイント回復に期待**

SET 指数は 4 日間の取引で 0.2% 安と続落。2 月月間では 2.0% 高。先週は 1500 ポイントを挟んでもみ合った。週初の 22 日は前週から下げ止まらず、前営業日比 1.5% 安と 4 日続落。一方、23 日は 1 月の貿易収支（通関ベース）が 1 年ぶりに赤字となったものの、原油高を背景にエネルギー株が指数上昇をけん引し、前日比 1.5% 高と反発した。その後、24 日は反落したが、25 日はパウエル FRB 議長が議会証言で米国債の利回り上昇やインフレに対する懸念を打ち消したほか、1 月の鉱工業生産が市場予想から上振れた効果で、反発して連休前の取引を終えている。今週は 5 日に 2 月の CPI が発表される予定。

### ▼指数チャート

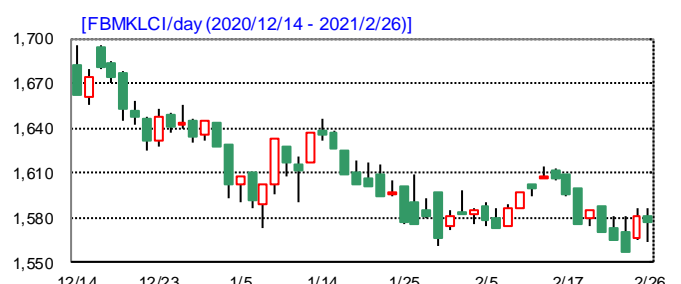


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.5% 安、今週は中央銀行が金融政策決定会合を開催**

クアラルンプール総合指数は週間で 0.5% 安と続落。2 月月間では 0.7% 高。先週はゴム手袋メーカー株の下落が目立った。週初の 22 日は、前日に新型コロナウイルスワクチンの第 1 便が到着したものの買い材料視されず、トップ・グローブなどが売られて指数は反落。24 日まで 3 日続落したが、25 日は 20 年 10-12 月期の純利益が大幅に増えた複合企業のサイム・ダービーを含む優良株が指数上昇をけん引し、前日比 1.5% 高と反発した。ただ、26 日は再び反落して引けている。今週は 4 日に中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定で、政策金利が 1.75% から 1.50% に引き下げられるとの見方が優勢。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。